

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東京慈恵会医科大学	整理番号	1-3-040
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	医療者（専門職業職者）育成のための学習評価システム		
申請単位	学部単位		
申請担当者	福島 統		
<p>(取組の概要)</p> <p>評価とは学生へのメッセージである。評価というフィードバックを通じ、学生は大学が決めたスクールミッションで求められる能力を獲得していく。従来の教育システムでは、科目担当者が学生を教え、試験を作り、採点し、合否判定を行ってきた。この教育の密室性（教育者＝評価者）と科目の独立性が大学での一貫教育を妨げてきた。本学の統合カリキュラムでは、教育実施組織と評価組織を完全に分けることで、教育者≠評価者のシステムを採用している（総合試験システム）。このシステムでは教育者がどれだけの成果を学生に与えたかを大学が評価することで、教育者の教育責任の明確化を行い、さらに試験問題をデータベースとして大学が一元管理することで、6年一貫のカリキュラム全体を管理することが可能となった。医療者を初め専門職業職者の教育では、各科目、各学年での学生の能力の着実な積み上げが必要である（構造化されたカリキュラム）。本学の取組は、責任あるカリキュラム管理の実践の具体例である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、東京慈恵会医科大学の教育目標である「高い診療能力をもつ臨床医の育成」を実現するために、東京慈恵会医科大学の医学部教授会の審議を経て、すでに7年にわたって組織的に実施されている取組であり、関係者の努力により当初目標とした総合試験により教育の質を保証するなど大きな成果をあげてきています。この取組は特に、全国の医学部・歯学部で行われている臨床実習開始前の共同試験システムの CBT モデルとなっているなど優れた特色があり、他の大学の参考になる事例です。</p>			